

## 「音羽中学校区小・中学校の今後の在り方について」の住民説明会における質疑応答

連番	日付・会場	ご質問	教育委員会の回答
1	1/11(日) 音羽生涯学習センター	施設一体型を検討しているという説明だったが、現在の音羽中学校の運動場に新しく小学校用の校舎を建てるということか。また、近年では支援級に通う児童・生徒が増加しているが、その指数はこの資料の中に反映されているのか。	現時点では小中一貫校をどこに作るか、いつ開校するかなど、詳細は決まっていない。今後、アンケート結果をもとに基本計画の策定・準備委員会の立ち上げ等を行いながら、具体的に検討していく予定である。支援学級については普通学級と並行して考えていくが、出生数から何人支援級に行くことになるかという予想をすることは不可能なため、資料には反映していない。
2	1/11(日) 音羽生涯学習センター	適正配置の通学時間は1時間(4km)とあるが、これは小学生が荷物を持ちながら歩くことを想定して定めたものか。	適正配置の基準は小学生が1時間歩いた場合を想定しているが、児童・生徒の安全面や体面を考慮し、全て歩かせるというわけではなく、スクールバスの活用なども検討していく。
3	1/11(日) 音羽生涯学習センター	施設一体型以外では小中一貫校としての効果は薄いと思う。特に施設分離型では意味がないと思うが、施設分離型になる可能性はどの程度あるのか。また、現時点で、いつから小中一貫校を開校するのかという見通しはあるのか。	効果の面で考えても、施設分離型の可能性は低い。現時点では計画もできていないため、明確な開校時期を伝えることは出来ないが、他自治体の事例をみていると学校基本計画策定に2～3年、施設建設等に2～3年で、5年ほどかかっている例が多く、おそらくそれくらいの時間は掛かると思われる。しかし、建設内容(新設・増設)や形態(一体型・隣接型)により前後することが見込まれるため、必ず5年で開校できますとは現時点で確約することはできない。
4	1/11(日) 音羽生涯学習センター	もし音羽中学校を建て替えて小中一貫校を開設する場合、音羽中学校に通っている生徒はどこで勉強するのか。	繰り返になるが、現時点ではどこにどのような一貫校を建てるか決まっていない。もし現在の音羽中学校に増設となった場合、運動場に新校舎を建てる可能性が大きいですが、そうなると運動場が使えなくなるので、一定期間は、例えば市民運動公園のような他の施設に移動して体育の授業を行うことになると思われる。なお、新規に小中一貫校を建設する場合は、開校までは今まで通りの学校で勉強し、完成したら新校舎に移ることになると思う。
5	1/11(日) 音羽生涯学習センター	現在、萩小学校が複式編制を回避するため特認校制度を導入しているが、小中一貫校になった場合は、特認校制度による受け入れはなくなるのか。	一貫校になった場合は小規模ではなくなるので、特認校制度の適用は行わない。小中一貫校が決まったら、どこかの段階で新規受け入れを停止することになる。
6	1/11(日) 音羽生涯学習センター	教育委員会として、いつまで一貫校を実施するのがベストだと考えているのか。データから客観的に判断したリミットがあるのか。	新設の小中一貫校である瀬戸市のにじの丘学園は、開校まで5年程度掛かったと聞いている。ほとんどの自治体でも同じくらい準備期間を要している。準備にそれだけの期間が必要だということを踏まえて、実施年度を決めていく予定である。
7	1/11(日) 音羽生涯学習センター	小中一貫校にしたところで、数年後には標準規模に該当しなくなるというデータが資料に記載されている。それなのに小中一貫校にする意味はあるのか。小中一貫校になったあと、また子どもの数が減っていった場合、他地区と合併する可能性もあるのか。	音羽地区だけではなく、豊川市全体で子どもの数は減ってきており、全国的にも小中学校の再編が問題になっている。そんな中で、音羽地区に小中学校を残していくにはどうしたらいいかと考えた時に、小中一貫校という形が一番良いというのではないかというのが教育委員会の結論である。他の地区でも、今後校区割の見直し等が必要になってくると思われるが、現時点では音羽地区と他地区の合併は考えていない。
8	1/11(日) 音羽生涯学習センター	現在、35名以上なら2クラスとしているが、数年前までは40人で1クラスだった。この数年でクラス人数の上限が変動する可能性はあるのか。また、クラスの上限が減った場合、少人数でも複数クラスになり、クラス替えができるようになるが、そのあたりはどう考えているのか。	45人学級→40人学級→35人学級と1学級の人数はここ数年で減少しているが、今後どうなるか(30人学級になるか、欧米のように20人学級になるか)は決まっていない。可能性はあるかもしれないが、現時点では国からその話は一切出ていない。また、クラス上限が少なくなればクラス数は増えるが、子どもの全体数が増えるわけではないので、小規模校としての問題が解決にされるわけではない。

連番	日付・会場	ご質問	教育委員会の回答
1	1/17(土) 長沢地区市民館	資料にはメリットばかりが書かれているが、小中一貫校のデメリットについて、教育委員会はどうか考えているか。	教師の負担が増えることや小学校を中心とした地域コミュニティが薄れること等が考えられる。また、児童・生徒への影響として、人数が増えることによる人間関係の複雑化、大人数で生活することへの抵抗感等も起こりえる。
2	1/17(土) 長沢地区市民館	小規模校を適正規模にした場合、小規模校のメリットがなくなってしまうのではないかと。長沢小学校の規模のならばデメリットよりもメリットの方が大きいと思う。	現在の人数や環境は理想かもしれないが、今後その人数を継続できなくなってくる。将来、1学年5人という状態が果たして学校として適正かどうかを考えていただきたい。
3	1/17(土) 長沢地区市民館	豊川市の過疎化している地域に対する人口減少対策はどうなっているのか。	豊川市全域で人口が減少しており、音羽地区のみならず、今後市内全域で学校の在り方を検討していく必要がある。合併時の1市4町という地区割りも見直す必要があるかもしれない。豊川市総合計画では人口減少対策を第1に掲げ、この問題に対して各課が様々な政策を行っている。子育て支援にも力を入れ、住みやすく子育てしやすい地域にしていく。
4	1/17(土) 長沢地区市民館	市外から豊川市に引っ越してきて、長沢小学校に近いところに家を建てた。未就学児の子どもがおり、学校がどうなるか非常に気になる。今後の計画を教えてください。	現時点では、建てる場所も開校年度も決まっていないため、「〇年に小中一貫校ができます」と明確に答えることはできないが、他自治体の例では、まずは基本計画を策定し、その後準備委員会を設立して、それから施設整備を行い開校という流れで、概ね5年程度掛かっている。
5	1/17(土) 長沢地区市民館	音羽地区以外で、同じような問題に直面している地区はあるか。	ショッピングセンター近くや区画整理地区の一部の地域を除き、豊川市内全体で子どもの数は減少している。実際に、5年後の入学予定児童が1名という地区もある。菰小学校は複式編制回避のために小規模特認校制度を導入したが、小規模特認校制度は単に人数が少ないだけではなく、学校や地域の特色も重要になるため、どこの学校でも導入できるものではない。
6	1/17(土) 長沢地区市民館	すでに小中一貫校を実施している学校の、児童・生徒や保護者のリアルな声を資料の中に記載してほしい。小中一貫校と言われても想像できない人が多い。判断材料を増やしてほしい。また、アンケート結果が出たら、結果の説明会を実施してほしい。	過去ににじの丘学園に視察に行った。新設の大変綺麗な校舎で、校内も活気があった。また、にじの丘学園に通うために市外から引っ越してくる家族もいると聞いている。通っている子達のリアルな声については、他市の学校のことなので難しいが、ご意見は今後の説明会の資料作成の参考にさせていただく。また、アンケート結果報告の説明会については、現時点では行う予定はないが、ご意見として承っておく。
7	1/17(土) 長沢地区市民館	教育現場と子育て支援の連携はどうなっているのか。	教育委員会と各課で、様々な課題・問題体制に対する連携は行っている。(いじめ、保育園等)。縦割り行政としての課題があるのは重々承知している。至らない部分については速慮なくご意見等・ご指摘いただきたい。
8	1/17(土) 長沢地区市民館	学校の経営状況が見える化してほしい。それを判断材料の一つにしたい。	生産年齢人口の減少により、今後市の税収が少なくなることは明確である。学校施設の維持は豊川市の経営状況に大きく関わってくる。小中一貫校について、どのような方向性で行くのかを地域の方々に説明させていただく際には、経営的な部分も資料として提示させていただくことになると思う。市内36校の維持・経営をどうするかというのは教育委員会の大きな課題であると認識している。
9	1/17(土) 長沢地区市民館	仮に小中一貫校となり学校が統合された場合、体育館はどうなるのか。今は地域スポーツ、クラブ活用で使用しているが、そういったことも考えてくれているのか。	体育館については災害時の避難所にもなっており、今後空調設置予定もある。体育館がどうなるかというのは未定だが、地域の避難所や地域スポーツの場になっているものなので、仮に小学校を閉校した場合でも、併せて体育館も閉鎖というわけではなく、その体育館が地域でどういう使われ方をしているのか、維持管理をどうしていくかということも地域と一緒に協議していく予定である。

連番	日付・会場	ご質問	教育委員会の回答
10	1/17(土) 長沢地区市民館	一貫校になると通学が大変になる子どもたちもいると思うが、通学時のコミュニティバス利用やバス停の増設は考えているのか。	小中一貫校の形態や開設場所で状況が変わってくるかと思うが、一番遠いところからの通学時間、安全性などを調査し、場合によってはスクールバスも検討する。その中でコミュニティバスのバス停なども状況調査を行う。
11	1/17(土) 長沢地区市民館	今回の小中一貫校の話は、いきなり出てきた話のように感じる。教育委員会では15年程前から今回のようなことを検討していたという話だが、町民には全く周知されていない。もっと早く教えてくれていたら、ほかの手を打てたかもしれない。小学校がなくなるというのは、地域住民にとって非常に大きな問題である。総合計画で人口減少対策を第一にしているというが、市内でも人口が増えている地域と、音羽地区のように減っている地域があるのに、それえを一緒くたにして同じ政策をしても意味がない。	貴重なご意見ありがとうございます。
1	1/18(日) 萩地区市民館	施設分離型は現状と変わらないように見える。それで小中一貫校のメリットがあるのならそれが一番いい形態だと思うが、分離型でも一体型や隣接型と同じような効果が見込めるのか。	施設分離型の一貫校の場合、教育理念を一本化するのみであり、課題に対する一貫校の効果としては薄いと思われる。そのため、音羽地区での小中一貫校は施設一体型を考えている。
2	1/18(日) 萩地区市民館	3小学校が合併しても中学校の人数は変わらず、一時しのぎのようにも見える。将来音羽中学校もなくなり、御油地区と統合することもあり得るのか。	現時点では音羽中学校と御油小学校の合併は考えていない、
3	1/18(日) 萩地区市民館	小中一貫校は駅の近くが良いと思う。遠い児童(小学校)にはバスを出すことも検討して欲しい。	小中一貫校の開校場所や形態については現時点ではまだ決まっていないが、通学については児童・生徒が安全に通うことができる方法を検討していく。
4	1/18(日) 萩地区市民館	小中一貫校について、どこに建てるか、どんな形態になるのか、現時点で決まっていることがあれば教えてほしい。	建設場所や、建て替えなのか新設なのか等の問題は市の財政状況に少なからず影響されると考えている。豊川市全体でも人口が減少しており、今後市の財政状況が劇的に回復することはない。その中で、市全体を考えながら、新設可能か、スクールバスはどうするか等を、今回お願いするアンケート結果を見ながら検討していきたいと考えている。
5	1/18(日) 萩地区市民館	これは学校の問題であると同時に地域の問題でもある。学校と地域のつながりをどう確保するのか。今まで培った関係をどうするのか。老人の生きがいを考えてほしい。	市長部局ともしっかり連携をとって話を進めていきたい。
6	1/18(日) 萩地区市民館	現在特認校制度で萩小学校に来ている子たちは、萩小学校のどこに魅力を感じて萩小学校に来てくれたのか、わかる範囲で教えてほしい。	現在14名の児童が、様々な事情により萩小学校に特認校制度を利用して通学している。大人数の環境に適應できない子・田舎ののびのびとした環境で生活したい子など様々だが、転入した全員が欠席することなく通っていると聞いている。また、14名全員継続の継続希望を受けている。
7	1/18(日) 萩地区市民館	将来的には豊川市内全域で小中一貫校を実施する予定か。	豊川市内には中学校が10校ある。その全校で施設一体型での小中一貫校の実施は、現実的に難しい。ただし、施設分離型や施設隣接型で対応できる場合もあり、市内で小中一貫教育をしていくかどうか、というのは今後、学校教育課を中心に検討していくことになると思われる。
8	1/18(日) 萩地区市民館	一貫校にしても結局人数は減っていく。それでも一貫校を進める理由はなにか。また、特認校はどうなるのか。	児童生徒数だけを見れば数が減っていくが、不登校の原因の1つである『中1ギャップ』対策として考えた時に、小中一貫校は有効な手段だと思っている。小規模校対策のみで小中一貫校の実施を進めるわけではない。また、特認校に関しては、小中一貫校になれば小規模ではなくなるため、特認校制度は適用0されなくなる。現在その制度を利用して萩小学校に通っている子たちをいきなり元の学校に返すことはないが、新規募集についてはどこかで区切っていく必要がある。

連番	日付・会場	ご質問	教育委員会の回答
9	1/18(日) 萩地区市民館	今回は地域に対しての説明だったが、先生方への説明はどのようなのか。	学校の教員も豊川市教育委員会の職員であり、教育委員会の方針として動いていく。小中一貫校が決まり、人事異動等の具体的な事案に対しては、学校教育課と情報共有しながら調整していく。
10	1/18(日) 萩地区市民館	中学生の場合は一貫校になってもクラス数が増えるわけではない。中学生にとっての一貫校のメリットがどんなことがあるのか。	小中一貫校になれば年長者になるため、年長者として小学生の面倒を見る規範意識や、社会性が育つというメリットが考えられる。
11	1/18(日) 萩地区市民館	統計上人口が減っていくということだが、長沢や萩には新しい分譲予定がある。そういうところで新しい人が来て人口が増える可能性はあるのではないか。あるいは、特認校制度を利用して家族は優先的に萩住宅に入ることができる、などの対策をとれば子どもは増えると思うがどうか。	音羽地区に限らず、豊川市全体で人口が減っているという現実を見てほしい。人口が増えている地区は、豊川市都市区画整備事業という非常に大きな事業を行った地域である。今後、西部地区のような大規模な開発を行う予定はなく、また莫大な予算を投じて実施したとしても、全国的に人口が減っている現状では、豊川市に来てくれる人がいるかどうかはわからない。イオンモールや近隣の岡崎アウトレットのように、集客力のある施設が建つことで多少の人口増加はあるかもしれないが、現時点では統計上こういう結果になっている。まずはそれを理解していただきたい。
12	1/18(日) 萩地区市民館	萩に暮らしたいという人は大勢いる。家が建てられないだけ。家を建てられるようにすればこの問題はすぐに解決する。近隣の岡崎市では学校をつぶさないように上手に政策をしている。アウトレットを見ても、田舎でもあれだけ栄えることができている。それを豊川市にもやってほしい。	ご意見ありがとうございます。
13	1/18(日) 萩地区市民館	南信州市など、人口が増えている田舎の地区がある。そういうところは子育てがしやすい地域として力を入れている。音羽地区の今ある空き家を有効活用して、子育てをしやすいような制度を作ってくれれば、この地区は名古屋や豊田にも近いので、人が増えると思う。	ご意見ありがとうございます。
14	1/18(日) 萩地区市民館	今回3校を合併しての小中一貫校ということだが、3校合併すると学校区がかなり広くなり、子どもたちの行動範囲もそれに合わせて広がる。子どもたちが今の学校区から出るようになれば心配が増える。3校合併ではなく、それぞれの小学校区の人数が増えるような対策をしてほしい。	子どもたちの遊び場（学校の跡地利用）の確保や、通学路の見直し等、地域の方たちと協議しながら、子どもたちの安全確保に努めていく。
15	1/18(日) 萩地区市民館	現在、子どもが萩小学校に通っている。小中一貫校になった場合、今の萩小学校の良さがなくなってしまうのではないかと心配している。そもそも、複式編制を回避しなければいけないという前提を変えてもいいのではないかな。	豊川市では、学校教育の機会均等やその水準の維持・向上の観点から、複式編制を回避する方針としている。ご意見ありがとうございます。
16	1/18(日) 萩地区市民館	小学校の高学年や中学生を対象にしたアンケートは行う予定があるか。	今のところ児童・生徒に対してアンケートを行う予定はない。
17	1/18(日) 萩地区市民館	複式編制を回避するための小規模特認制度を、萩小学校外でも行う予定はあるか。	小規模校特認校制度を複数校で行うと、希望者が分散し、結果としてどの学校も複式編制を回避できない可能性があるため、現時点では萩小学校以外で行う予定はない。
18	1/18(日) 萩地区市民館	萩小学校で特認校制度が導入され、14人もの児童が転入してくれた。学校にも通えているということだが、そんな中で今小中一貫校の話が出れば、現場の先生や関係者の意を削ぐようなことになりはしないだろうかと危惧している。また、アンケートを実施することだが、数年前に萩小学校の合併の話が出た時、教育委員会は予め合併在りきで話を持ってきて、アンケート項目にもそれははっきりと表れていた。合併に誘導するようなアンケート項目だった。なので、今回のアンケート項目についても、地元と協議しながら作成する場を設けてほしい。	アンケートは地域の方々の率直な意見を聞くために行うもので、特定の答えに誘導するものではない。地域の皆様には、忌憚のない意見を書いていただきたい。

以上